

検定付きのはかりが「-E」表示になる場合

2020/02
(株)エー・アンド・デイ
グローバルマーケティング本部

現在の検定付きはかりは、容器(風袋)が、“ある範囲の”重さだった場合に、容器を降ろすとエラー表示「-E」表示になる場合があります

・具体的には

- ① 容器を載せた後、「ゼロ(RE-ZERO)」キーを押して、表示を「ゼロ」にする(風袋引きする)
- ② ものの重さをはかる
- ③ その後に、容器を降ろすと「-E表示」と表示する

・「-E」表示になってしまったら？

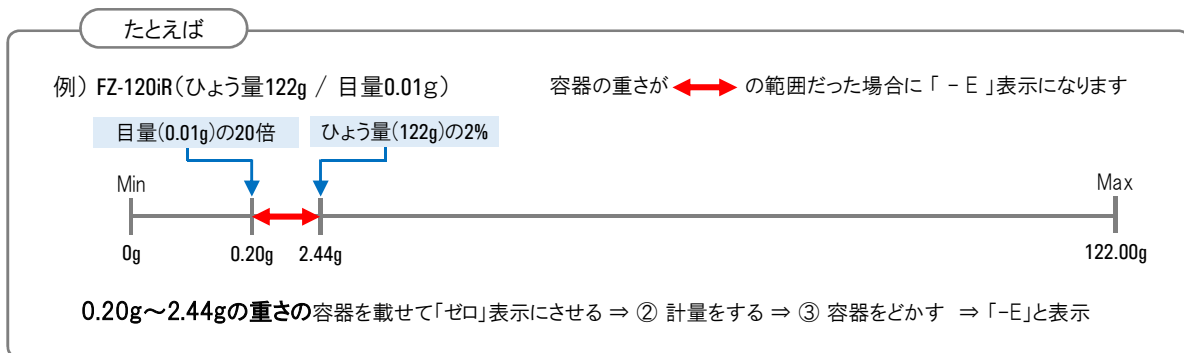
もう一度「ゼロ(RE-ZERO)」キーを押すことで、表示が「ゼロ」に戻ります

・なぜ、こうなるの？

現行の「計量法」上、このようになるケースがあります ← マイナス20以上は表示出来ないから

・そのケースとは？

容器の重さが、はかりの“**目量の20倍以上 ~ ひょう量の2%以下**”の範囲だった場合」



・全部の“検定付きはかり”が「-E」表示になるの？

すべてのモデルがそうなるものではありません

- ・現行の計量法の中で、新JIS B 7611-2(平成21年3月20日制定以降のバージョン)に適合したモデル
- ・且つ、上記の「目量の20倍&ひょう量の2%」の空白が生じるモデルのみ

該当モデル FZ-iR・FZ-iWPRシリーズ / EK-320iR / EW-i-Kシリーズ / SC-K・SE-Kシリーズ / SJシリーズ
SK-i/SK-iWPシリーズ

「-E」表示にならないモデル

- ① 少し前から販売しているはかり(H級・M級・O級のはかりや、1・2・3・4級のはかりでもH21/3/20以前のはかり)
例) GX-Rシリーズ / GX-KRシリーズ / GP-Rシリーズ / EK-i-Kシリーズ / FG-Kシリーズ

- ② 「風袋引き」と「ゼロ」のキーの両方があるモデル

例) HV-C-Kシリーズ / HV-CWP-Kシリーズ / SJ-AWPシリーズ / SWシリーズ / FS-iシリーズ / SN-K-Kシリーズ

・他のモデルでは？

SC-150KAM-K(目量0.05kg／ひょう量150kg)

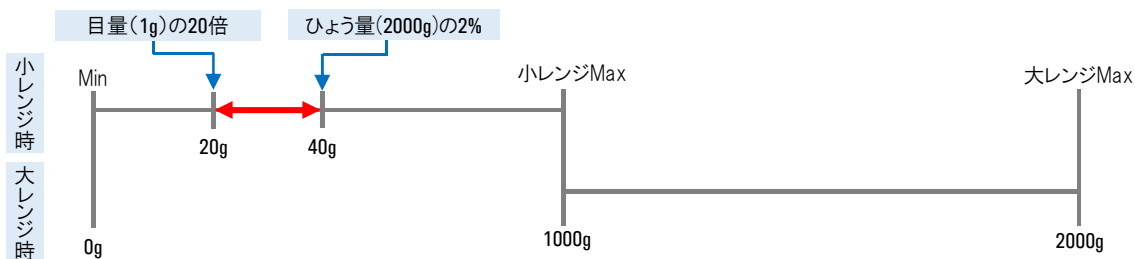
⇒ 1kg以上3kg以下



SJ-2000AWP(目量 1g/ひょう量1000g、目量2g／ひょう量2000g)

多目量モデル (小レンジ・大レンジがある)

⇒ 小レンジの目量1g / ひょう量2000g



ポイント: 多目量の場合、目量の20倍とひょう量の2%は、それぞれ最小の目量(小レンジ)と最大のひょう量を適用する

・レアケース

SJ-5000(目量5g／ひょう量5000g)

⇒ ジャスト「100g」の時のみ！！

